

令和6年(2024年)度年間授業計画表					
学年	3年	学科	全学科	必選	選択
教科	地歴・公民	科目	政治・経済	単位	2単位
使用教材	第一学習社 高等学校 政治経済				
学習目標	社会のあり方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を迫及したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。				
単元と内容					
1学期	現代日本の政治・経済 日本国憲法と現代政治のあり方 望ましい政治のあり方と主権者として政治参加の在り方 市場経済の機能と限界	日常生活は政治によって様々な仕組みがつくられていることを理解する。			
		自分たちの国をどのようにしたいかという願いや理想が憲法であり その中に人々の扱いかたである人権があることを理解する。 市場経済の仕組みについて理解する。			
2学期	金融を通じた経済活動の活性化 現代日本の諸課題の探求 現代の国際政治・経済 国際法の果たす役割 国際依存関係が深まる国際経済の特質	現代の資本主義への発展と変容、家計や企業の働きと政府の役割 について理解する。			
		グローバル化する国際社会の特徴と国際機関の働きや国際協調に よる経済発展について理解する。			
3学期	国際社会の諸課題の研究	国際社会における資源やエネルギー、環境保全などの問題を中心 にして、物価と消費者保護、社会保障と社会福祉などの経済生活 に関する諸課題について考えていく。			
評 価					
評価の観点		評価の趣旨			
I	知識・技能	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題に向けて探求するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。			
II	思考・判断・表現	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠にし構想する力や、構想したこと妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して合意形成や社会参画に向かう力を養う。			
III	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。			
評価方法	観点 I	観点 II	観点 III	年間時数	
	ペーパーテスト 授業の振り返り	授業の取り組み 課題解決に向けた発表	授業への取り組み 課題への取り組み (工夫した記述)	予定	
				70 時間	
				実施	
置賜農業育てる能力	自己肯定感 主体性 生命 他者理解 協調性 生きる力 知識技能 社会貢献				